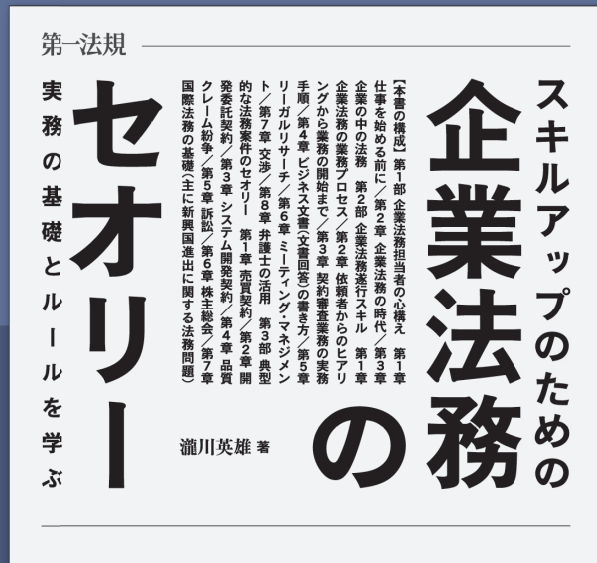


現役法務部門責任者が、  
法務業務を「ゲーム」になぞらえ、  
実務面からレクチャー!!



# スキルアップのための 企業法務のセオリー

実務の基礎とルールを学ぶ



東証一部 上場企業 現役 法務部長が書いた企業法務の実務解説書

法務は「ゲーム」。  
「ルール」を知れば  
「勝ち方」がわかる。

若手・中堅  
OJT担当  
一人法務  
必読。

第一法規

株式会社ミスミグループ本社  
法務・コンプライアンス統括執行役員  
**瀧川英雄 著**

A5判・240頁  
定価：本体2,400円+税

## 本書の特色

- 契約審査業務からミーティングの在り方まで、法務部の日々の業務シーンにおける仕事の“肝”となる企業法務遂行スキルを丁寧に解説。
- 売買契約や品質クレーム紛争等の典型的な法務案件にフォーカスし、法務担当者が出すべき「答」と「解法」を体系化して収録。
- 著者自身が開発した研修ツールをフル活用して「企業法務」の業務を一般化。図解を多用した構成で、業務フローの俯瞰的な理解ができるため、若手・中堅法務担当者はもちろん、OJT担当者や「一人法務」にも使える法務担当者のスキルアップツール。



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560  
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694  
Fax. 0120-302-640

# Contents

## 第1部 企業法務担当者の心構え

- 第1章 仕事を始める前に
- 第2章 企業法務の時代
- 第3章 企業の中の法務

## 第2部 企業法務遂行スキル

- 第1章 企業法務の業務プロセス
- 第2章 依頼者からのヒアリングから業務の開始まで
- 第3章 契約審査業務の実務手順
- 第4章 ビジネス文書（文書回答）の書き方
- 第5章 リーガルリサーチ

- 第6章 ミーティング・マネジメント
- 第7章 交渉
- 第8章 弁護士の活用

## 第3部 典型的な法務案件のセオリー

- 第1章 売買契約
- 第2章 開発委託契約
- 第3章 システム開発契約
- 第4章 品質クレーム紛争
- 第5章 訴訟
- 第6章 株主総会
- 第7章 国際法務の基礎（主に新興国進出に関する法務問題）

# 内容見本

## 第3章 契約審査業務の実務手順

多くの企業において、法務業務の中では契約に関わるものが多い。ここに契約審査は法務業務の典型と言うべきものであり、そのスキルを身につけておくことは、法務担当者にとって不可欠だ。本章では、契約審査業務の手順を概観しながら、契約書を審査するために必要なスキルを学んでいく。

### 1 | 契約書は取引当事者間の法律

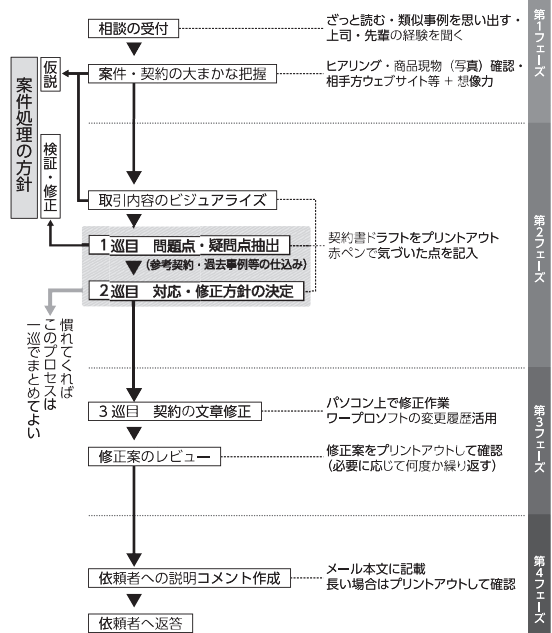
そもそも、なぜ契約関連業務は法務部の仕事とされているのだろうか。契約関連業務とは、自社と契約の相手方との間にルールを決める仕事であり、いわば「立法作業」である。である以上、法律に関する知識と素養を備えた法務部が、法的な権利義務をわきまえた文書を遺漏なく作成する必要がある、と考えられているからである。

契約書に関する業務としては、相手方から出された契約書を審査する「レビュー」と、法務部で一から契約書を書き起こす「ドラフト」の2つがあるが、法務部に持ち込まれる案件の数は前者の方が圧倒的に多い。これは、自社から提示する契約の多くは、すでに自社の標準書式（ひな型）として用意されているからである。また、自社のひな型に対する相手方修正案をレビューするということも多い。

契約書レビューの全体的なプロセスは〔図表8〕の通りである。次項では、この流れを具体的に見ていく。

▶ 第3章 契約審査業務の実務手順

図表8 契約書レビューの全体プロセス



詳細・お申し込みはコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索

CLICK!